

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース/米ドルコース/円コース」は、このたび、第137期～第142期の決算を行いました。本ファンドは、日本を除くアジアの米ドル建てハイ・イールド債券に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしつつ、アジア通貨コースと米ドルコースでは通貨への投資効果を追求した運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### アジア通貨コース

第142期末 (2023年10月25日)	第137期～第142期
基準価額 2,961円	騰落率 5.4%
純資産総額 4,937百万円	分配金合計 180円

#### 米ドルコース

第142期末 (2023年10月25日)	第137期～第142期
基準価額 4,181円	騰落率 7.9%
純資産総額 9,805百万円	分配金合計 210円

#### 円コース

第142期末 (2023年10月25日)	第137期～第142期
基準価額 3,200円	騰落率 -5.9%
純資産総額 1,128百万円	分配金合計 150円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付できる旨が定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

#### 〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



## 交付運用報告書

# GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド

アジア通貨コース

米ドルコース

円コース

追加型投信/海外/債券

第137期 (決算日2023年5月25日)

第138期 (決算日2023年6月26日)

第139期 (決算日2023年7月25日)

第140期 (決算日2023年8月25日)

第141期 (決算日2023年9月25日)

第142期 (決算日2023年10月25日)

作成対象期間: 2023年4月26日～2023年10月25日

## ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先: 03-6437-6000 (代表)

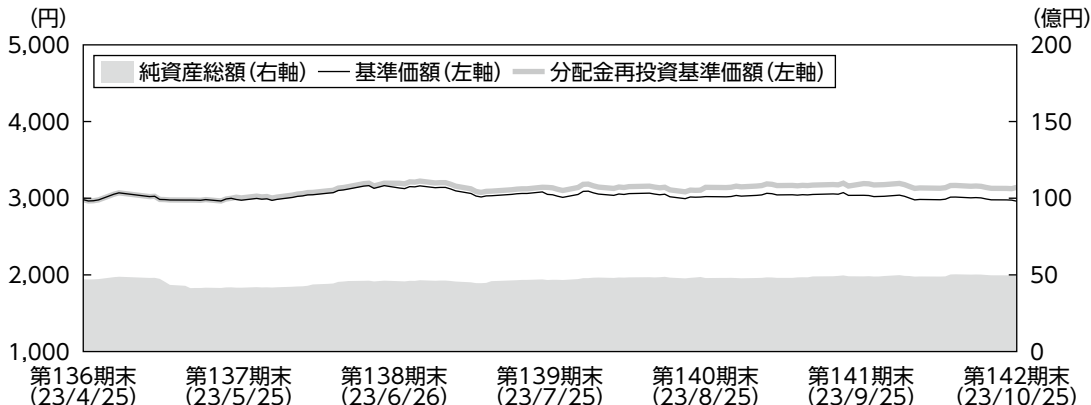
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

www.gsam.co.jp

## GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

## 運用経過

## ■ 基準価額等の推移について（2023年4月26日～2023年10月25日）



第137期首：2,981円

第142期末：2,961円

(当完成期中にお支払いした分配金：180円)

騰落率：+5.4% (分配金再投資ベース)

(注1) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額は、当完成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の2,981円から20円下落し、期末には2,961円となりました。

## 上昇要因

保有しているハイ・イールド債券からのクーポン収入が基準価額の上昇要因となりました。

## 下落要因

アジア・ハイ・イールド債券市場のスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）が拡大したことや米国債の利回りが上昇（価格は下落）したこと、分配金をお支払いしたことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第137期～第142期		項目の概要
	2023年4月26日～2023年10月25日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	29円 (14)	0.951% (0.468)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(14)	(0.468)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
その他費用 (保管費用)	1 (0)	0.022 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(1)	(0.019)	
合計	30	0.973	

期中の平均基準価額は3,040円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

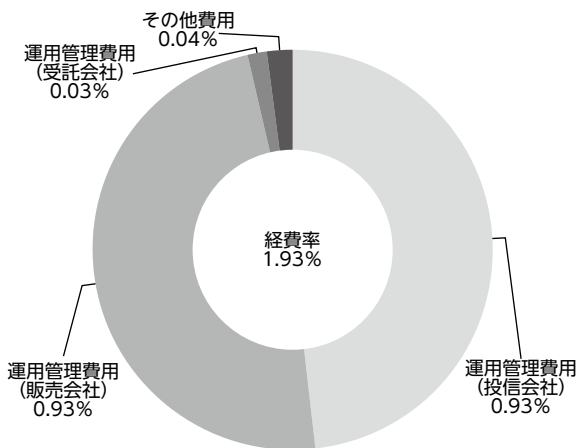
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### (参考情報)

## ■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.93%です。



経費率 (①+②)	1.93%
①このファンドの費用の比率	1.93%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

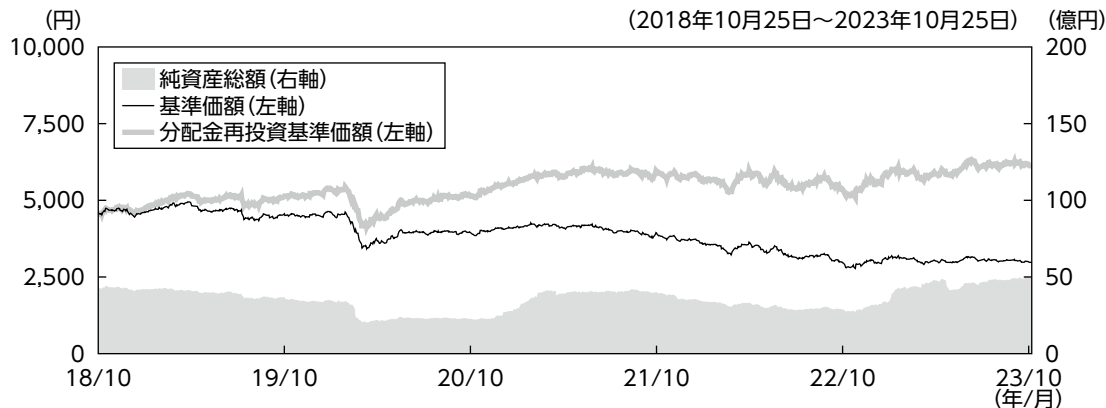
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年10月25日の基準価額を起点として指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/10/25 決算日	2019/10/25 決算日	2020/10/26 決算日	2021/10/25 決算日	2022/10/25 決算日	2023/10/25 決算日
基準価額（分配落）（円）	4,574	4,506	3,892	3,844	2,858	2,961
期間分配金合計（税引前）（円）	—	600	600	600	600	380
分配金再投資基準価額騰落率	—	12.1%	0.3%	14.5%	-11.0%	17.5%
純資産総額（百万円）	4,271	3,620	2,242	3,917	2,778	4,937

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■ 投資環境について

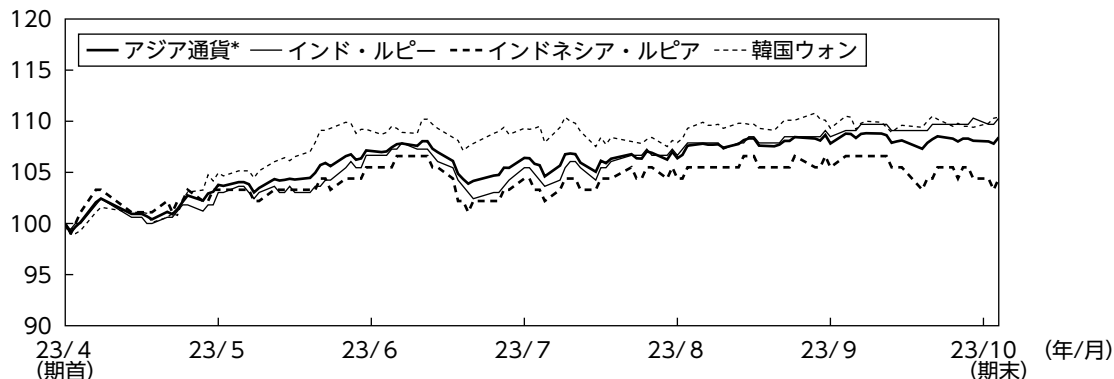
### <アジア・ハイ・イールド債券市場>

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場において、スプレッドは期初に米地銀を巡る懸念の再燃や米利上げ継続観測などを背景に拡大したものの、その後、期央にかけては中国当局による景気刺激策への期待などから縮小しました。期の後半は、米金利の上昇に加え、中国の経済や不動産を巡る懸念などが嫌気され、スプレッドは拡大し、前期末を上回る水準で期を終えました。当期、米国債の利回りが上昇しスプレッドが拡大したことから、アジア・ハイ・イールド債券市場は前期末から下落しました（米ドルベース）。

### <外国為替市場>

アジア通貨は、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、韓国ウォンともに対円で上昇しました。

### ○為替レート（対円）の推移



出所：一般社団法人投資信託協会

\*インド・ルピー、インドネシア・ルピア、韓国ウォンを均等配分しています。

(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

### <短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1ヵ月は前期末の4.09%程度から5.24%程度まで上昇して期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドはアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト アジア通貨クラスおよびゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト アジア通貨クラスを高位に組入れることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト アジア通貨クラス*1	6.4%
ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド*2	14.7%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- \* 1 ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラストーアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト クラスI O（アジア通貨バスケット）
- \* 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーーゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・クラス

### <アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト アジア通貨クラス>

主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券に投資することにより、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる長期的なトータル・リターンを獲得することを目的として、運用を行いました。また、米ドル建て資産に対して原則として対アジア通貨で為替取引を活用することにより、アジア通貨への投資効果を追求しました。本ファンドにおいて、アジア通貨とは、アジア地域の中で、通貨の流動性、金利水準、経済状況等を勘案して、委託会社が選択したインド・ルピー、インドネシア・ルピアおよび韓国ウォンのことをいい、原則として3通貨に均等配分します。

当期の組入れファンドのパフォーマンスは、米ドルベースで下落しました。個別銘柄では、モンゴルの炭鉱会社モンゴリアン・マイニングなどがパフォーマンスのプラス要因となった一方、中国の不動産デベロッパーである遠洋地産（シノ・オーシャン・ランド）などがマイナス要因となりました。

### <ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第137期から第142期は各30円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2023年4月26日 ~2023年5月25日	2023年5月26日 ~2023年6月26日	2023年6月27日 ~2023年7月25日	2023年7月26日 ~2023年8月25日	2023年8月26日 ~2023年9月25日	2023年9月26日 ~2023年10月25日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.996	0.948	0.974	0.983	0.978	1.003
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,146	4,174	4,192	4,213	4,235	4,255

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針について

### <本ファンド>

今後も引き続きアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト アジア通貨クラスの組入れを高位に保ち、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### <アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト アジア通貨クラス>

アジア・ハイ・イールド債券市場について、他の債券セクターと比較して高利回りかつ低金利リスクという特徴を持つアジア・ハイ・イールド債券市場は引き続き魅力的な投資機会であると考えます。一方、先進国の景気後退懸念やインフレの動向、中国の不動産セクターや経済を巡る懸念などがリスク材料であると考え、動向を注視しています。

### <ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

(上記見通しは2023年10月25日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

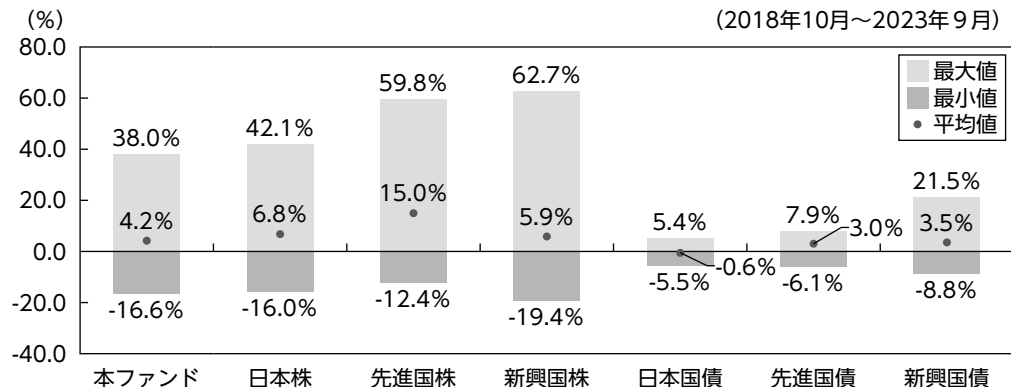


## 本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2026年10月23日まで
運用方針	主として、日本を除くアジアの投資適格格付未滿に格付けされた米ドル建て高利回り債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	<p>&lt;アジア通貨コース&gt; 以下①③の指定投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>&lt;米ドルコース／円コース&gt; 以下②③の指定投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラスト <ul style="list-style-type: none"> <li>①アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト クラスI〇 (アジア通貨バスケット)</li> <li>②アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト クラスI〇</li> </ul> </li> <li>・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー <ul style="list-style-type: none"> <li>③ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド</li> </ul> </li> </ul>
指定投資信託証券①	主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券。組入資産につき米ドルとアジア通貨（インド・ルピー、インドネシア・ルピア、韓国ウォン）との為替取引も活用
指定投資信託証券②	主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券
指定投資信託証券③	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	<p>①外貨建資産については、アジア通貨コース・米ドルコースでは、原則として対円での為替ヘッジは行わず、円コースでは、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p>
分配方針	原則として毎計算期末（毎月25日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2018年10月から2023年9月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

### ■ 本ファンドの組入資産の内容 (2023年10月25日現在)

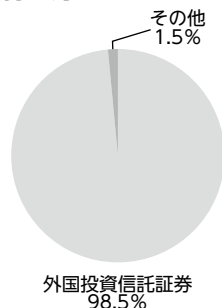
#### ○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

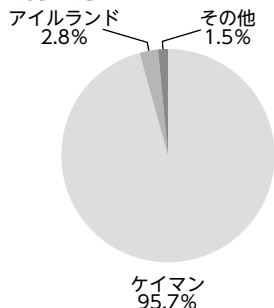
ファンド名	比率
アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト アジア通貨クラス	95.7%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.8%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

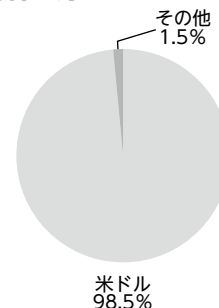
#### ○ 資産別配分



#### ○ 国別配分



#### ○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

### ■ 純資産等

項目	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末
	2023年5月25日	2023年6月26日	2023年7月25日	2023年8月25日	2023年9月25日	2023年10月25日
純資産総額	4,166,415,825円	4,588,853,039円	4,664,647,749円	4,792,837,859円	4,902,048,769円	4,937,875,650円
受益権総口数	13,969,099,087口	14,649,164,836口	15,296,032,773口	15,865,698,755口	16,135,782,830口	16,677,152,627口
1万口当たり基準価額	2,983円	3,133円	3,050円	3,021円	3,038円	2,961円

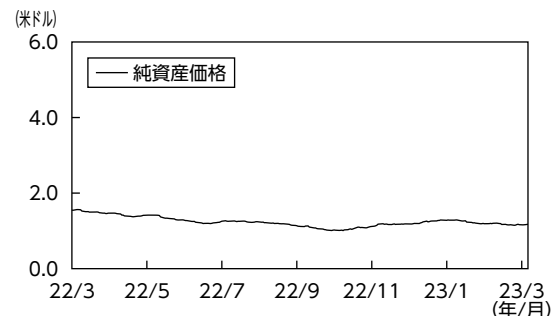
(注) 当作成期首元本額は15,813,736,227円、当作成期間(第137期～第142期)中において、追加設定元本額は4,075,732,701円、同解約元本額は3,212,316,301円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト アジア通貨クラス> (2023年3月31日現在)

\* 2023年10月25日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年4月1日~2023年3月31日)



○費用明細 (2023年3月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

運用費用	
投資顧問報酬	1,083,237
管理事務代行報酬	97,902
監査報酬	68,114
受託報酬	23,965
保管費用	108,851
名義書換事務代行報酬	17,857
投資主サービス報酬	20,000
雑費	1,176
運用費用合計	1,421,102

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

\*クラスI O (アジア通貨バスケット) の純資産価格

○組入上位10銘柄

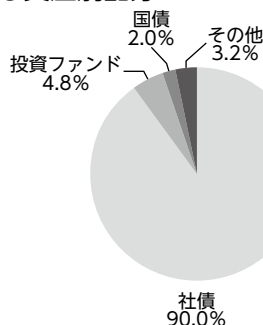
順位	銘柄	種別	比率
1	Goldman Sachs Funds PLC - US\$ Treasury Liquid Reserves Fund, Class X	投資ファンド	4.8%
2	SMC Global Power Holdings Corp	社債	3.0%
3	Wynn Macau Ltd	社債	2.4%
4	Wynn Macau Ltd	社債	2.3%
5	MGM China Holdings Ltd	社債	2.2%
6	Sands China Ltd	社債	2.1%

(組入銘柄数: 226銘柄)

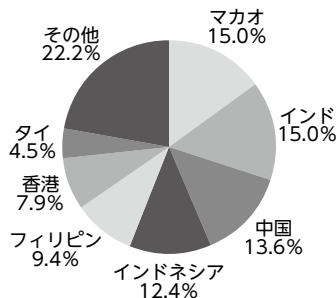
順位	銘柄	種別	比率
7	Kasikornbank PCL/Hong Kong	社債	1.8%
8	Greenko Solar Mauritius Ltd	社債	1.7%
9	Indika Energy Capital IV Pte Ltd	社債	1.6%
10	Mong Duong Finance Holdings BV	社債	1.6%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

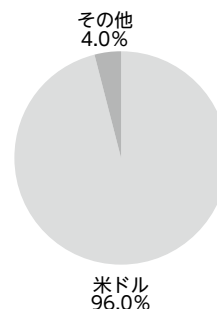
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

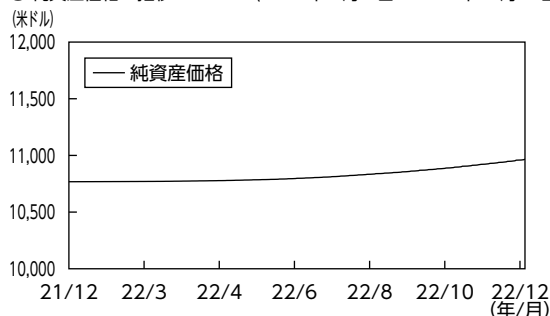
\* 為替取引の比率は、インド・ルピーが32.6%、インドネシア・ルピーが33.7%、韓国ウォンが32.7%です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2022年12月31日現在)

\* 2023年10月25日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年1月1日~2022年12月31日)



\* X アキュムレーション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2022年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	金額
投資顧問報酬	69,081,454
管理会社報酬	3,682,413
管理事務代行報酬	1,194,381
保管費用	1,607,581
販売報酬	3,489,257
名義書換事務代行報酬	464,601
監査報酬	15,188
取締役報酬	14,475
弁護士報酬	39,338
保険費用	204,761
印刷費用	24,047
その他費用	585,112
費用合計	80,402,608
投資顧問報酬調整額	(7,685,797)
運用費用合計	72,716,811

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

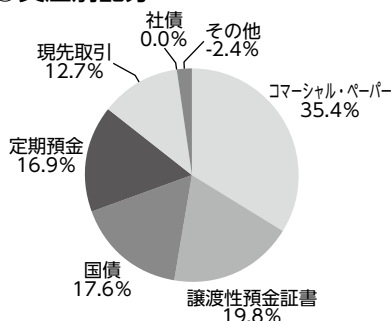
順位	銘柄	種別	通貨	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo 4.300% 2023/1/3	現先取引	米ドル	8.4%
2	Australia & New Zealand Banking Group Ltd 4.320% 2023/1/3	定期預金	米ドル	3.2%
3	Federal Home Loan Banks 4.320% 2023/3/20	国債	米ドル	2.9%
4	Banco Santander SA 4.300% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.7%
5	Canadian Imperial Bank of Commerce 4.300% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.6%
6	Societe Generale 4.430% 2023/1/4	定期預金	米ドル	2.3%

(組入銘柄数: 242銘柄)

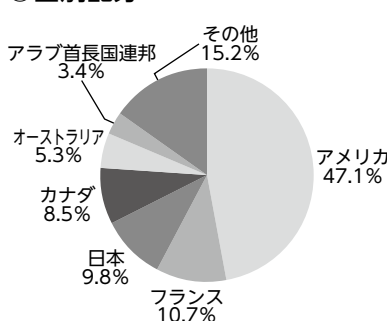
順位	銘柄	種別	通貨	比率
7	Societe Generale 4.430% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.3%
8	Federal Farm Credit Banks Funding Corp 4.360% 2023/8/1	国債	米ドル	1.7%
9	Citigroup Global Markets Inc Repo 4.300% 2023/1/3	現先取引	米ドル	1.5%
10	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.434% 2023/3/22	国債	米ドル	1.5%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

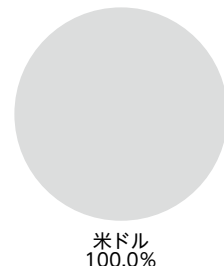
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

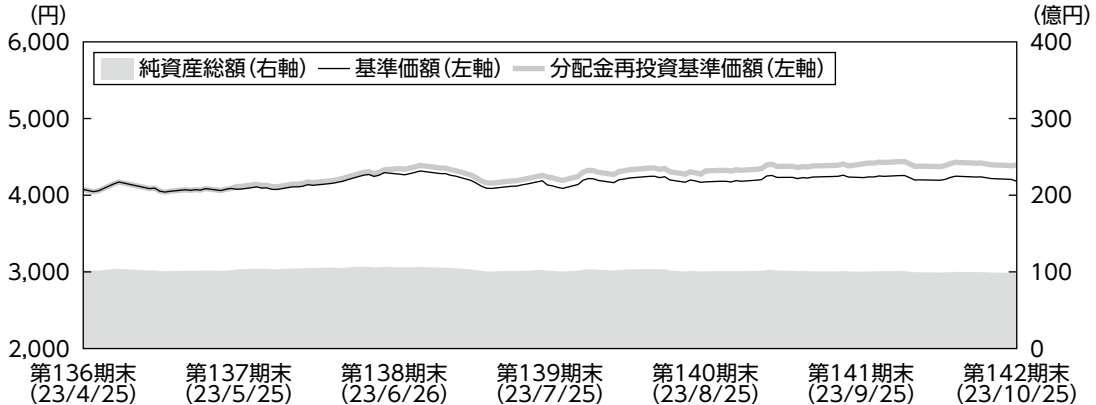
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース

## 運用経過

## ■ 基準価額等の推移について（2023年4月26日～2023年10月25日）



第137期首：4,075円

第142期末：4,181円

(当作成期中にお支払いした分配金：210円)

騰落率：+7.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の4,075円から106円上昇し、期末には4,181円となりました。

上昇要因

米ドルが円に対して上昇したこと、保有しているハイ・イールド債券からのクーポン収入などが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

アジア・ハイ・イールド債券市場のスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）が拡大したことや米国債の利回りが上昇（価格は下落）したこと、分配金をお支払いしたことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第137期～第142期		項目の概要
	2023年4月26日～2023年10月25日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	40円 (20)	0.951% (0.468)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(20)	(0.467)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
その他費用 (保管費用)	1 (0)	0.019 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.007)	
(その他)	(1)	(0.012)	
合計	41	0.970	

期中の平均基準価額は4,174円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

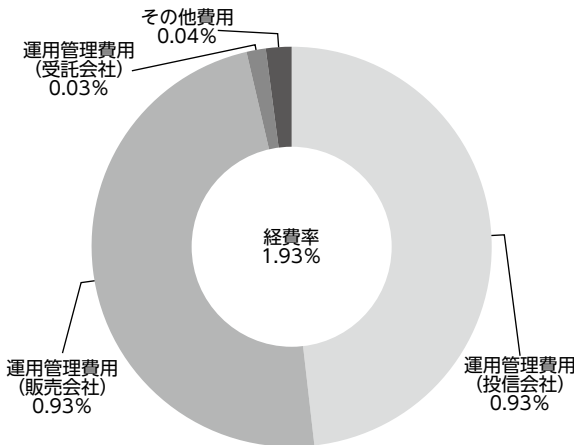
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### (参考情報)

## ■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.93%です。



経費率 (①+②)	1.93%
①このファンドの費用の比率	1.93%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

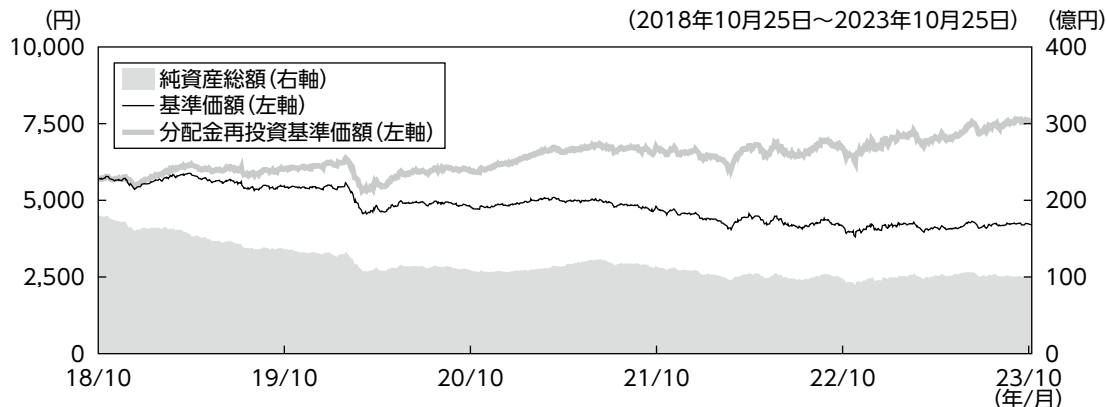
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年10月25日の基準価額を起点として指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/10/25 決算日	2019/10/25 決算日	2020/10/26 決算日	2021/10/25 決算日	2022/10/25 決算日	2023/10/25 決算日
基準価額(分配落) (円)	5,720	5,420	4,734	4,695	4,038	4,181
期間分配金合計(税引前) (円)	—	600	600	600	600	435
分配金再投資基準価額騰落率	—	5.5%	-1.5%	12.1%	-1.2%	15.0%
純資産総額(百万円)	18,064	13,580	10,765	11,185	9,485	9,805

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。



## ■ 投資環境について

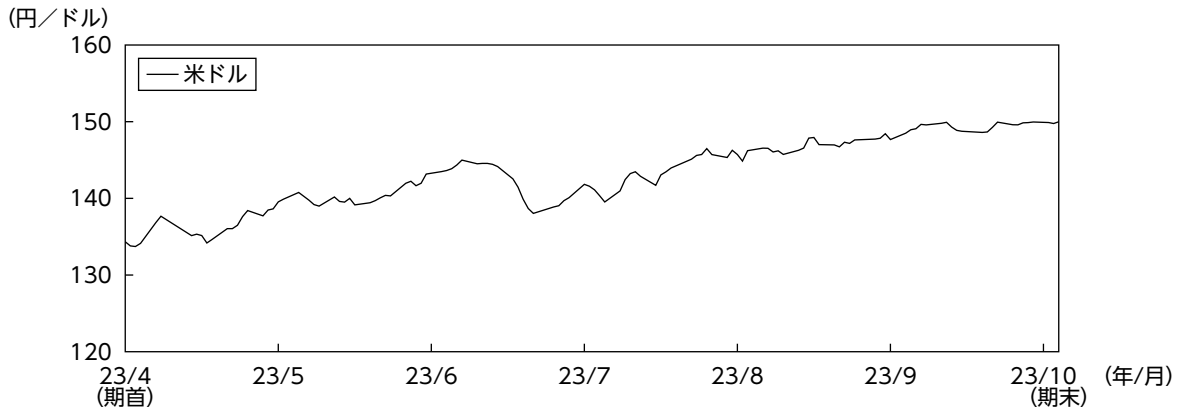
### <アジア・ハイ・イールド債券市場>

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場において、スプレッドは期初に米地銀を巡る懸念の再燃や米利上げ継続観測などを背景に拡大したものの、その後、期央にかけては中国当局による景気刺激策への期待などから縮小しました。期の後半は、米金利の上昇に加え、中国の経済や不動産を巡る懸念などが嫌気され、スプレッドは拡大し、前期末を上回る水準で期を終えました。当期、米国債の利回りが上昇しスプレッドが拡大したことから、アジア・ハイ・イールド債券市場は前期末から下落しました（米ドルベース）。

### <外国為替市場>

外国為替市場では、米金利の上昇などを受け米ドルは対円で上昇しました。

### ○為替レート（対円）の推移



### <短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1ヵ月は前期末の4.09%程度から5.24%程度まで上昇して期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドはアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラスおよびゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラスを高位に組入れることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス* <sup>1</sup>	9.1%
ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド* <sup>2</sup>	14.7%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- \* 1 ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラストーアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト クラスI O
- \* 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーーゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド X アクкумуляション・クラス

### <アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス>

主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券に投資することにより、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる長期的なトータル・リターンを獲得することを目的として、運用を行いました。

当期の組入れファンドのパフォーマンスは、米ドルベースで下落しました。個別銘柄では、モンゴルの炭鉱会社モンゴリアン・マイニングなどがパフォーマンスのプラス要因となった一方、中国の不動産デベロッパーである遠洋地産（シノ・オーシャン・ランド）などがマイナス要因となりました。

### <ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第137期から第142期は各35円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2023年4月26日 ~2023年5月25日	2023年5月26日 ~2023年6月26日	2023年6月27日 ~2023年7月25日	2023年7月26日 ~2023年8月25日	2023年8月26日 ~2023年9月25日	2023年9月26日 ~2023年10月25日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
(対基準価額比率)	0.851	0.812	0.840	0.832	0.821	0.830
当期の収益	35	35	35	35	35	35
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,939	4,977	5,006	5,038	5,069	5,098

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針について

### <本ファンド>

今後も引き続きアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラスの組入れを高位に保ち、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### <アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス>

アジア・ハイ・イールド債券市場について、他の債券セクターと比較して高利回りかつ低金利リスクという特徴を持つアジア・ハイ・イールド債券市場は引き続き魅力的な投資機会であると考えます。一方、先進国の景気後退懸念やインフレの動向、中国の不動産セクターや経済を巡る懸念などがリスク材料であると考え、動向を注視しています。

### <ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

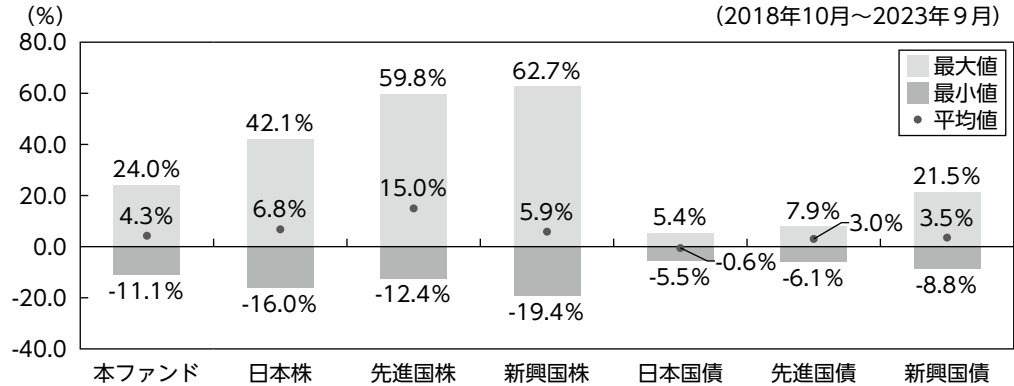
(上記見通しは2023年10月25日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## 本ファンドの概要

8ページをご参照ください。

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2018年10月から2023年9月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

### ■ 本ファンドの組入資産の内容 (2023年10月25日現在)

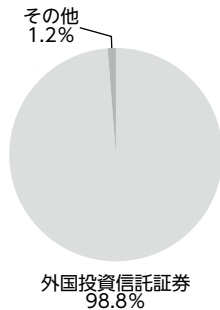
#### ○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

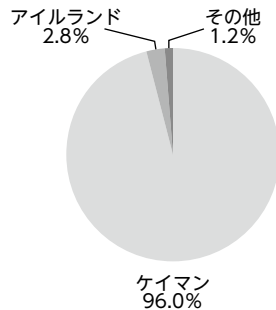
ファンド名	比率
アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス	96.0%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.8%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

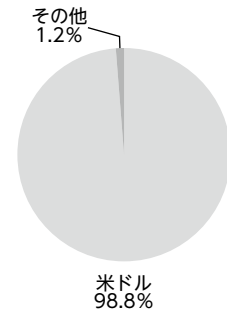
#### ○ 資産別配分



#### ○ 国別配分



#### ○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

### ■ 純資産等

項目	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末
	2023年5月25日	2023年6月26日	2023年7月25日	2023年8月25日	2023年9月25日	2023年10月25日
純資産総額	10,335,031,406円	10,599,575,931円	10,146,431,095円	10,066,134,014円	10,030,352,550円	9,805,471,213円
受益権総口数	25,344,237,137口	24,793,751,575口	24,547,652,881口	24,119,128,062口	23,713,982,181口	23,450,515,438口
1万口当たり基準価額	4,078円	4,275円	4,133円	4,174円	4,230円	4,181円

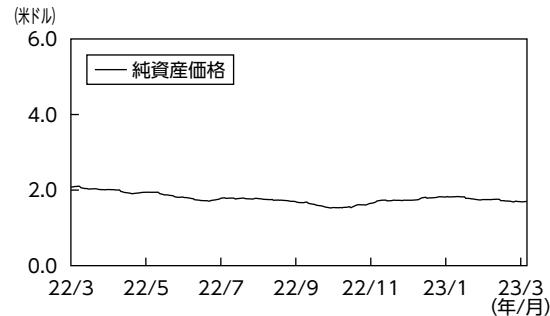
(注) 当作成期首元本額は24,981,065,473円、当作成期間（第137期～第142期）中において、追加設定元本額は1,483,848,920円、同解約元本額は3,014,398,955円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス> (2023年3月31日現在)

\* 2023年10月25日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○ 純資産価格の推移について (2022年4月1日~2023年3月31日)



○ 費用明細 (2023年3月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

運用費用	
投資顧問報酬	1,083,237
管理事務代行報酬	97,902
監査報酬	68,114
受託報酬	23,965
保管費用	108,851
名義書換事務代行報酬	17,857
投資主サービス報酬	20,000
雑費	1,176
運用費用合計	1,421,102

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

\* クラスIの純資産価格

○ 組入上位10銘柄

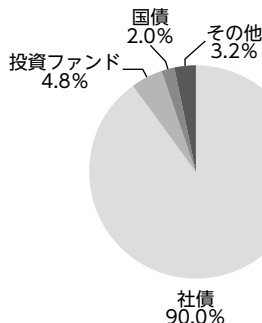
順位	銘柄	種別	比率
1	Goldman Sachs Funds PLC - US\$ Treasury Liquid Reserves Fund, Class X	投資ファンド	4.8%
2	SMC Global Power Holdings Corp	社債	3.0%
3	Wynn Macau Ltd	社債	2.4%
4	Wynn Macau Ltd	社債	2.3%
5	MGM China Holdings Ltd	社債	2.2%
6	Sands China Ltd	社債	2.1%

(組入銘柄数: 226銘柄)

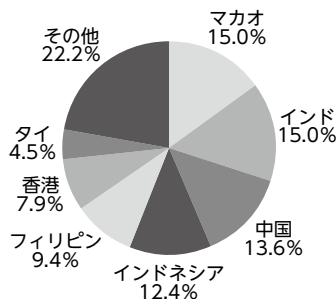
順位	銘柄	種別	比率
7	Kasikornbank PCL/Hong Kong	社債	1.8%
8	Greenko Solar Mauritius Ltd	社債	1.7%
9	Indika Energy Capital IV Pte Ltd	社債	1.6%
10	Mong Duong Finance Holdings BV	社債	1.6%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

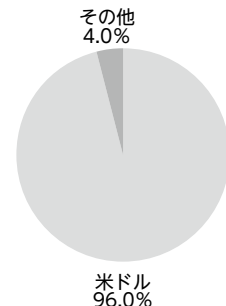
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

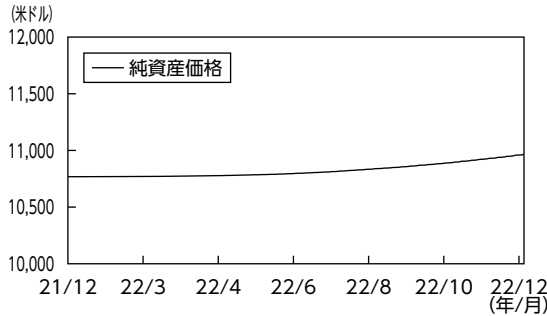
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2022年12月31日現在)

\* 2023年10月25日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年1月1日~2022年12月31日)



\* X アキュムレーション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2022年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	金額
投資顧問報酬	69,081,454
管理会社報酬	3,682,413
管理事務代行報酬	1,194,381
保管費用	1,607,581
販売報酬	3,489,257
名義書換事務代行報酬	464,601
監査報酬	15,188
取締役報酬	14,475
弁護士報酬	39,338
保険費用	204,761
印刷費用	24,047
その他費用	585,112
費用合計	80,402,608
投資顧問報酬調整額	(7,685,797)
運用費用合計	72,716,811

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

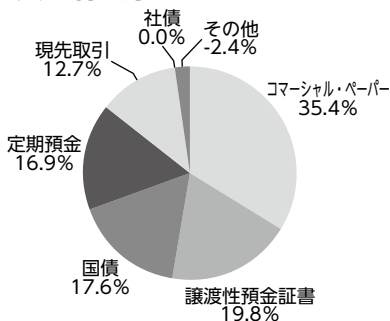
順位	銘柄	種別	通貨	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo 4.300% 2023/1/3	現先取引	米ドル	8.4%
2	Australia & New Zealand Banking Group Ltd 4.320% 2023/1/3	定期預金	米ドル	3.2%
3	Federal Home Loan Banks 4.320% 2023/3/20	国債	米ドル	2.9%
4	Banco Santander SA 4.300% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.7%
5	Canadian Imperial Bank of Commerce 4.300% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.6%
6	Societe Generale 4.430% 2023/1/4	定期預金	米ドル	2.3%

(組入銘柄数: 242銘柄)

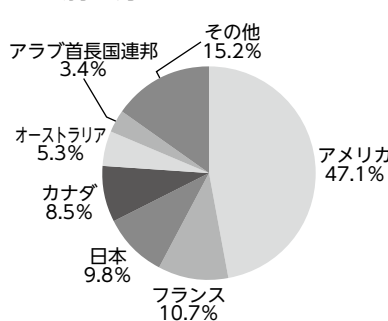
順位	銘柄	種別	通貨	比率
7	Societe Generale 4.430% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.3%
8	Federal Farm Credit Banks Funding Corp 4.360% 2023/8/1	国債	米ドル	1.7%
9	Citigroup Global Markets Inc Repo 4.300% 2023/1/3	現先取引	米ドル	1.5%
10	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.434% 2023/3/22	国債	米ドル	1.5%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

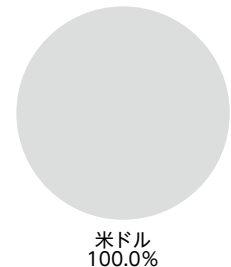
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

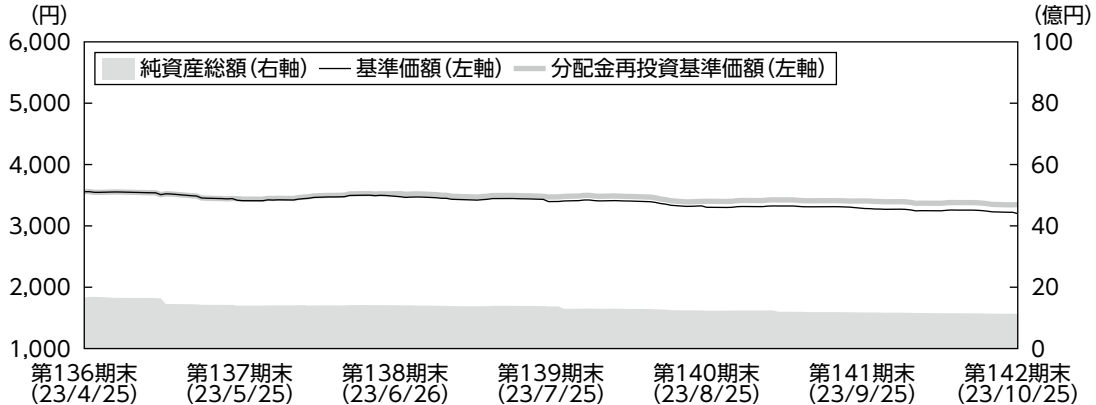
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。



## GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド 円コース

## 運用経過

## ■ 基準価額等の推移について（2023年4月26日～2023年10月25日）



第137期首：3,557円

第142期末：3,200円

(当作成期中にお支払いした分配金：150円)

騰落率：-5.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の3,557円から357円下落し、期末には3,200円となりました。

## 上昇要因

保有しているハイ・イールド債券からのクーポン収入が基準価額の上昇要因となりました。

## 下落要因

アジア・ハイ・イールド債券市場のスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）が拡大したことや米国債の利回りが上昇（価格は下落）したこと、また分配金をお支払いしたことや、円ヘッジの際のヘッジ・コストなどが基準価額の下落要因となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第137期～第142期 2023年4月26日～2023年10月25日		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	32円 (16)	0.951% (0.468)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(16)	(0.467)	
(受託会社)	( 1)	(0.016)	
その他費用 (保管費用)	1 ( 0)	0.021 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	( 0)	(0.007)	
(その他)	( 0)	(0.013)	
合計	33	0.972	

期中の平均基準価額は3,406円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

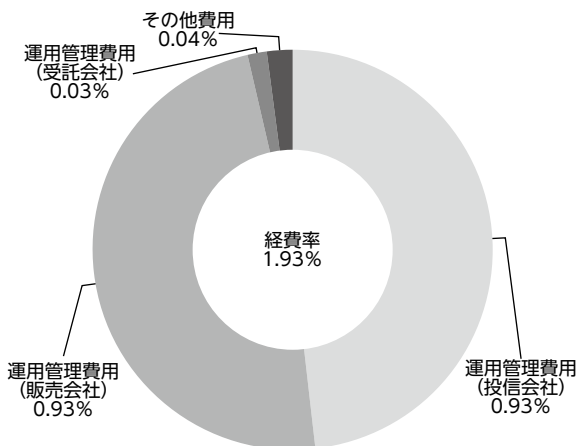
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### (参考情報)

## 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.93%です。



経費率 (①+②)	1.93%
①このファンドの費用の比率	1.93%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

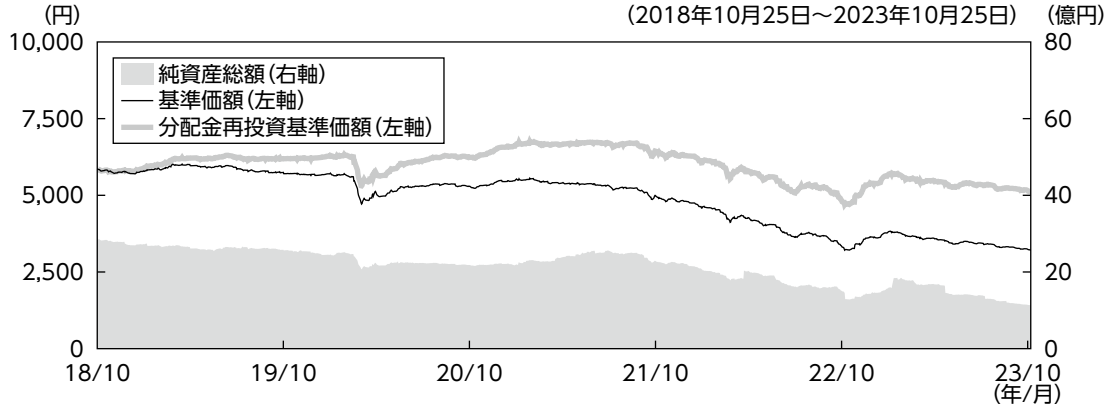
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年10月25日の基準価額を起点として指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/10/25 決算日	2019/10/25 決算日	2020/10/26 決算日	2021/10/25 決算日	2022/10/25 決算日	2023/10/25 決算日
基準価額（分配落）（円）	5,870	5,704	5,251	4,934	3,257	3,200
期間分配金合計（税引前）（円）	—	480	480	480	480	315
分配金再投資基準価額騰落率	—	5.5%	0.7%	2.8%	-25.7%	7.6%
純資産総額（百万円）	2,861	2,560	2,165	2,259	1,469	1,128

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■ 投資環境について

### <アジア・ハイ・イールド債券市場>

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場において、スプレッドは期初に米地銀を巡る懸念の再燃や米利上げ継続観測などを背景に拡大したものの、その後、期央にかけては中国当局による景気刺激策への期待などから縮小しました。期の後半は、米金利の上昇に加え、中国の経済や不動産を巡る懸念などが嫌気され、スプレッドは拡大し、前期末を上回る水準で期を終えました。当期、米国債の利回りが上昇しスプレッドが拡大したことから、アジア・ハイ・イールド債券市場は前期末から下落しました（米ドルベース）。

### <短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1ヵ月は前期末の4.09%程度から5.24%程度まで上昇して期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドはアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラスおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラスを高位に組入れることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。また、米ドル建て資産に対して原則として対円で為替ヘッジを行いました。

### 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、米ドルベース）

ファンド名	騰落率
アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス* <sup>1</sup>	-2.3%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* <sup>2</sup>	2.7%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- \* 1 ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラストーアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト クラスI O
- \* 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーーゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド X アクキュレーション・クラス

### <アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス>

主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券に投資することにより、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる長期的なトータル・リターンを獲得することを目的として、運用

を行いました。

当期の組入れファンドのパフォーマンスは、米ドルベースで下落しました。個別銘柄では、モンゴルの炭鉱会社モンゴリアン・マイニングなどがパフォーマンスのプラス要因となった一方、中国の不動産デベロッパーである遠洋地産（シノ・オーシャン・ランド）などがマイナス要因となりました。

#### <ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

#### ■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

#### ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第137期から第142期は各25円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

#### <分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2023年4月26日 ~2023年5月25日	2023年5月26日 ~2023年6月26日	2023年6月27日 ~2023年7月25日	2023年7月26日 ~2023年8月25日	2023年8月26日 ~2023年9月25日	2023年9月26日 ~2023年10月25日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.726	0.714	0.731	0.751	0.756	0.775
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6,390	6,426	6,454	6,484	6,510	6,535

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針について

### <本ファンド>

今後も引き続きアジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラスの組入れを高位に保ち、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。また、米ドル建て資産に対して原則として対円で為替ヘッジを行います。

### <アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス>

アジア・ハイ・イールド債券市場について、他の債券セクターと比較して高利回りかつ低金利リスクという特徴を持つアジア・ハイ・イールド債券市場は引き続き魅力的な投資機会であると考えます。一方、先進国の景気後退懸念やインフレの動向、中国の不動産セクターや経済を巡る懸念などがリスク材料であると考え、動向を注視しています。

### <ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

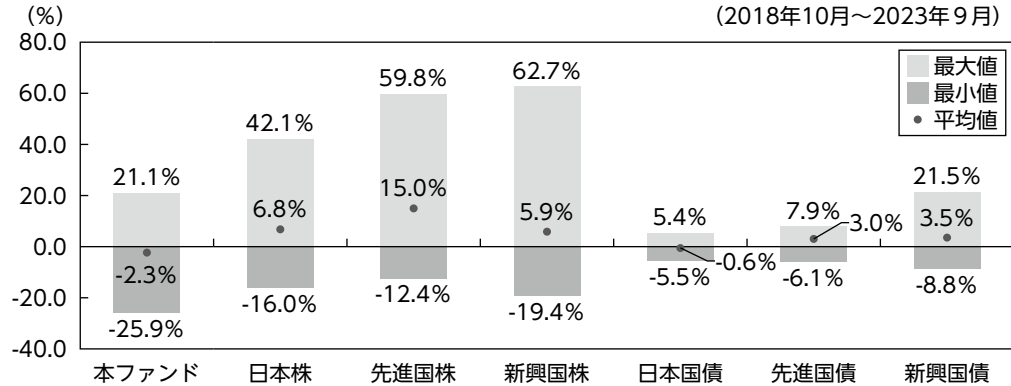
(上記見通しは2023年10月25日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## 本ファンドの概要

8ページをご参照ください。

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2018年10月から2023年9月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

### ■ 本ファンドの組入資産の内容 (2023年10月25日現在)

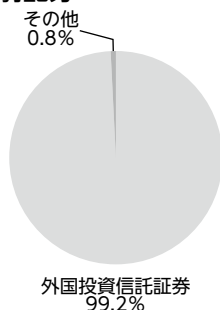
#### ○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

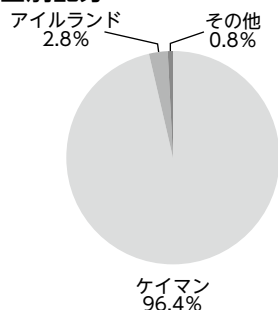
ファンド名	比率
アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス	96.4%
ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.8%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

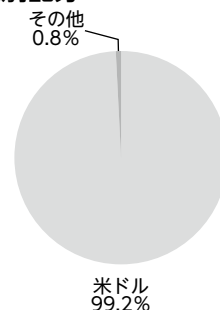
#### ○ 資産別配分



#### ○ 国別配分



#### ○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

### ■ 純資産等

項目	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末
	2023年5月25日	2023年6月26日	2023年7月25日	2023年8月25日	2023年9月25日	2023年10月25日
純資産総額	1,402,549,508円	1,409,804,187円	1,370,829,936円	1,234,686,239円	1,175,102,395円	1,128,109,115円
受益権総口数	4,103,885,523口	4,057,033,212口	4,037,126,259口	3,738,426,885口	3,579,143,979口	3,525,254,515口
1万口当たり基準価額	3,418円	3,475円	3,396円	3,303円	3,283円	3,200円

(注) 当作成期首元本額は4,676,407,598円、当作成期間(第137期～第142期)中において、追加設定元本額は198,407,859円、同解約元本額は1,349,560,942円です。

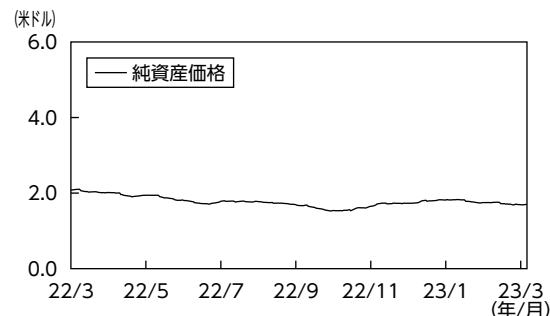


■ 組入上位ファンドの概要

<アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラスト 米ドルクラス> (2023年3月31日現在)

\* 2023年10月25日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○ 純資産価格の推移について (2022年4月1日~2023年3月31日)



○ 費用明細 (2023年3月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

運用費用	
投資顧問報酬	1,083,237
管理事務代行報酬	97,902
監査報酬	68,114
受託報酬	23,965
保管費用	108,851
名義書換事務代行報酬	17,857
投資主サービス報酬	20,000
雑費	1,176
運用費用合計	1,421,102

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

\* クラスIの純資産価格

○ 組入上位10銘柄

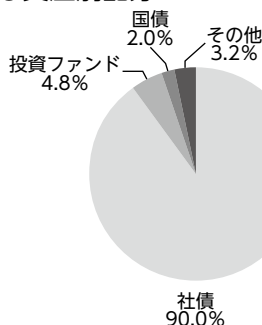
順位	銘柄	種別	比率
1	Goldman Sachs Funds PLC - US\$ Treasury Liquid Reserves Fund, Class X	投資ファンド	4.8%
2	SMC Global Power Holdings Corp	社債	3.0%
3	Wynn Macau Ltd	社債	2.4%
4	Wynn Macau Ltd	社債	2.3%
5	MGM China Holdings Ltd	社債	2.2%
6	Sands China Ltd	社債	2.1%

(組入銘柄数: 226銘柄)

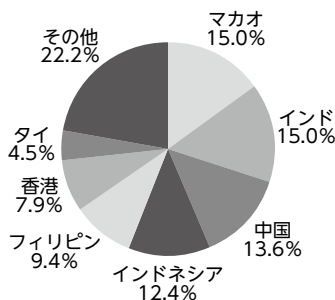
順位	銘柄	種別	比率
7	Kasikornbank PCL/Hong Kong	社債	1.8%
8	Greenko Solar Mauritius Ltd	社債	1.7%
9	Indika Energy Capital IV Pte Ltd	社債	1.6%
10	Mong Duong Finance Holdings BV	社債	1.6%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

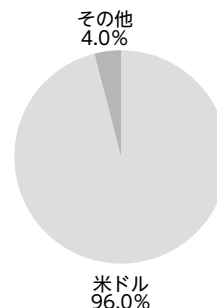
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

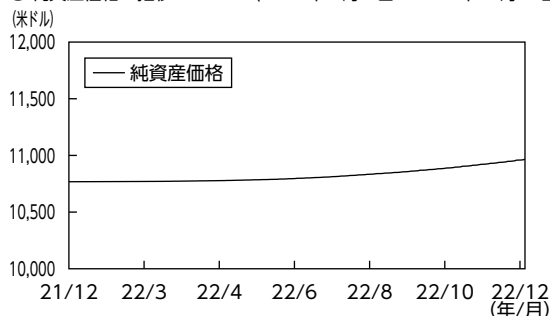
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS \$ リキッド・リザーブズ・ファンド> (2022年12月31日現在)

\* 2023年10月25日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年1月1日~2022年12月31日)



\* X アクкумуляション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2022年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
投資顧問報酬	69,081,454
管理会社報酬	3,682,413
管理事務代行報酬	1,194,381
保管費用	1,607,581
販売報酬	3,489,257
名義書換事務代行報酬	464,601
監査報酬	15,188
取締役報酬	14,475
弁護士報酬	39,338
保険費用	204,761
印刷費用	24,047
その他費用	585,112
費用合計	80,402,608
投資顧問報酬調整額	(7,685,797)
運用費用合計	72,716,811

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

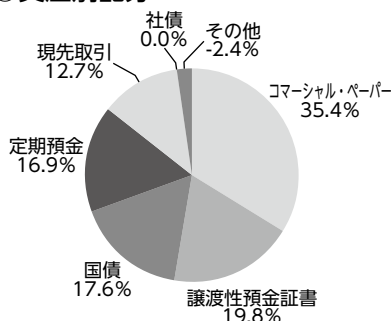
順位	銘柄	種別	通貨	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo 4.300% 2023/1/3	現先取引	米ドル	8.4%
2	Australia & New Zealand Banking Group Ltd 4.320% 2023/1/3	定期預金	米ドル	3.2%
3	Federal Home Loan Banks 4.320% 2023/3/20	国債	米ドル	2.9%
4	Banco Santander SA 4.300% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.7%
5	Canadian Imperial Bank of Commerce 4.300% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.6%
6	Societe Generale 4.430% 2023/1/4	定期預金	米ドル	2.3%

(組入銘柄数: 242銘柄)

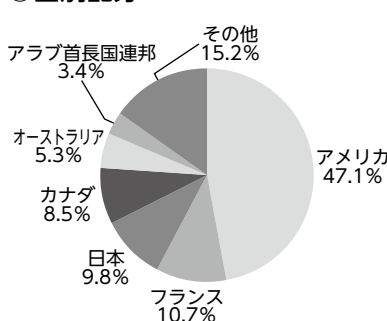
順位	銘柄	種別	通貨	比率
7	Societe Generale 4.430% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.3%
8	Federal Farm Credit Banks Funding Corp 4.360% 2023/8/1	国債	米ドル	1.7%
9	Citigroup Global Markets Inc Repo 4.300% 2023/1/3	現先取引	米ドル	1.5%
10	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.434% 2023/3/22	国債	米ドル	1.5%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

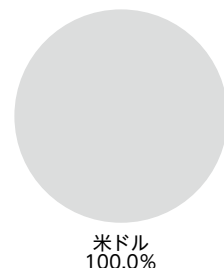
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。